

モビリティ・ソリューション賞

運転特性計測アプリの無償配布など

交通事故削減への取り組み

ソニー損害保険

ソニー損害保険は、ソニーグループの人工知能(AI)やセンシング、クラウドコンピューティングなどの先進技術を用いて運転特性の計測ができるスマートフォンのアプリケーション「GOOD DRIVE(グッドドライブ)アプリ」を活用し、交通事故の削減に取り組んでいる。2020年3月に運転特性運動型自動車保険「安全運転でキャッシュバックプラン」の販売を開始。22年1月から、保険契約の有無に関わらず誰でも無料で利用できるよう公開している。

社会課題である交通事故削減に、保険会社として貢献しようとする取り組みを開始した。安全運転促進のため、運転特性から推

定した事故リスクの度合い(運転スコア)と保険料キャッシュバック額、スコア改善アドバイスを可視化し、インセンティブを提供する保険商品を開発するとともに、操作負担なく計測できる仕組みをソニーグループ各社との協業で構築した。

専用のデバイスを手回りのアクセサリーソケットに挿入し、スマホを社内を持ち込むと、自動で運転特性を計測する仕組みだ。「安全運転でキャッシュバックプラン」では、運転スコアに応じて契約者に保険料を最大

30%キャッシュバックする。運転スコアが高い契約者ほど損害率が低い傾向が確認できているという。9割以上の契約者が20〜30%のキャッシュバックを受けており、8割が30%と、事故リスクの低減に貢献している。

え、同アプリの提供範囲を保険契約の有無に関わらずすべての



【走行記録表示画面】走行経路と、運転スコアに影響する操作が行われた場所を、地図上で確認できます。



【運転アドバイス表示画面】事故リスク低減(運転スコア向上)に向けたアドバイスが確認できます。



【ホーム画面(運転スコア表示画面)】計測した運転特性データから事故リスクを推定してスコア化します。画面にはアプリ使用後の累計スコアが表示されます。

AIなど先進技術活用し事故リスクなど計測

スコア次第でキャッシュバックも

ドライバーに拡大した。スマホを持っていれば誰でも無料で利用できる。利用者は、表示される運転スコアとそれに応じた運転アドバイスや走行記録を参考に、運転スコアを上げること、事故リスクの低減に取り組むことができる。

【選考委員コメント】

グループの持つ技術力を生かして、操作負担のないスマホアプリを開発。より良い運転スコアを目指すというゲーム性を持たせることで、楽しみながら安全運転を促し、運転中の事故リスク低減につなげている。自社商品の契約者に限定せず、すべてのドライバーが利用できるよう無料で開放しており、「交通事故の少ない社会の実現」に向けて、社会全体の安心と安全に貢献している。